

救急・救助編

---

## 《 救 急 編 》

### 1 救急の概況

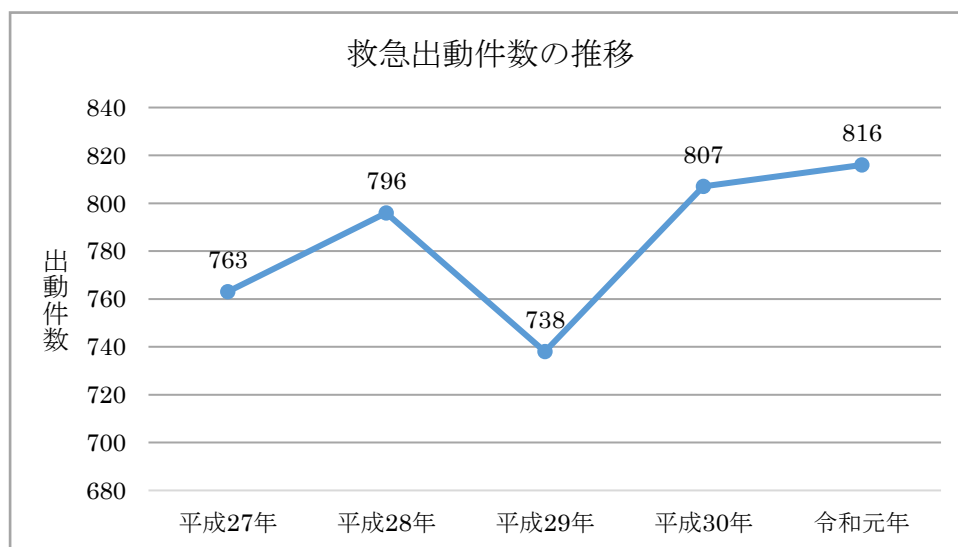
西臼杵消防本部では、高規格救急車を3台配備しており、最大で同時に3件の救急に対応できます。また、救急隊には、救急救命士を必ず1名は配置するようにしており、常に高度な救命処置が行える体制をとっています。

軽自動車の救急車も配備しており、道路が狭あいな地区や山道など、高規格救急車が進入できない場所での救急事案において活用しています。

令和元年中の救急出動件数は816件（前年比9件増）となり、平成27年に消防本部の運用を開始してから最高となりました。都市部における救急件数は、年々増加し右肩上がりの傾向にあります。西臼杵消防本部管内の傾向としては、人口が減少していることもあり、増え方は緩やかなものとなっています。

搬送人員は788人（前年比18人増）で、住民25人に1人の割合で救急車を利用したことになります。

項 目		平成30年 (A)	令和元年 (B)	増減 (B)-(A)
出 動 件 数		807	816	9
搬 送 人 員		770	788	18
月 平 均	出 動 件 数	67.3	68.0	0.7
	搬 送 人 員	64.2	65.7	1.5
日 平 均	出 動 件 数	2.2	2.2	0.0
	搬 送 人 員	2.1	2.2	0.1
救 急 車 利 用 率		26人に1人の割合	25人に1人の割合	



## 2 事故種別・町別出動状況

出動件数を事故種別で比較すると、「急病」が461件で最も多く、全体の56.5%を占めており、次いで「転院搬送」が157件で19.2%、「一般負傷」が113件で13.8%となっています。

「転院搬送」では、管内医療機関で処置が困難な患者を、延岡市内や熊本市内の高度医療機関（県立延岡病院、済生会熊本病院等）に搬送しています。

事故種別 町別	出 動 件 数 (件)														
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
高千穂町	1			30	6	3	84		2	361	117	2			606
日之影町				21	5	1	19		2	53	15	1			117
五ヶ瀬町				7		1	10		2	46	25	1			92
管轄外										1					1
合計	1	0	0	58	11	5	113	0	6	461	157	4	0	0	816

## 3 事故種別・町別搬送人員状況

搬送状況を事故種別で比較すると、「急病」によるものが442人で全体の56.1%、次いで「転院搬送」が157人で19.9%、「一般負傷」が106人で13.5%となっています。

事故種別 町別	搬 送 人 員 (人)														
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
高千穂町				31	6	3	81			346	117				584
日之影町				28	4	1	16		2	52	15				118
五ヶ瀬町				5		1	9		2	43	25				85
管轄外										1					1
合計	0	0	0	64	10	5	106	0	4	442	157	0	0	0	788

#### 4 事故種別・医療機関別搬送人員

搬送人員788人のうち、72.3%にあたる570人を第一次的に管内の救急告示医療機関に搬送しています。

(単位:人)

搬送医療機関		事故種別											その他		合計
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他		
管内	高千穂町国民健康保険病院				45	8	4	81				341	12		491
	日之影町国民健康保険病院				3			7			1	24			35
	五ヶ瀬町国民健康保険病院				6			6			2	29	1		44
管外(県内)	宮崎県立延岡病院				3	2	1	4			1	16	83		110
	公立病院											1			1
	黒木病院											2			2
	平田東九州病院												3		3
	山中産婦人科医院											1			1
	宮崎県立宮崎病院												1		1
その他医療機関							1				2	2		5	
ドクターヘリ宮崎					6			4			14	3		27	
管外(県外)	山都町地域包括医療センターそよう病院				1			2				8			11
	済生会熊本病院											1	23		24
	熊本赤十字病院											1	11		12
	熊本大学医学部附属病院												3		3
	国立病院機構熊本医療センター												6		6
	熊本中央病院												6		6
	熊本機能病院												1		1
	熊本地域医療センター												1		1
	くまもと森都総合病院													1	1
	その他医療機関							1				1	1		3
合計		0	0	0	64	10	5	106	0	4	442	157	0	788	

## 5 傷病程度別・年齢別搬送人員

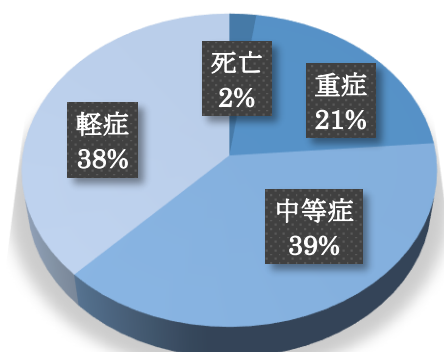
搬送人員を傷病程度別で見ると、入院加療を必要とする「中等症」が304人と最も多く38.6%、次いで入院加療を必要としない「軽症」が297人で37.7%、長期の入院加療が必要な「重症」は169人で21.4%でした。なお、「死亡」は、初診時において死亡が確認されたものです。

年齢区分で見ると、高齢者が544人で69%と搬送人員の大半を占めています。成人については、220人で27.9%となっています。

(単位:人)

年齢別 傷病程度別	新生児	乳幼児	7～ 17歳	18～ 24歳	25～ 34歳	35～ 44歳	45～ 54歳	55～ 64歳	65歳以上	合計
死 亡						1		2	15	18
重 症		1		1	1	2	7	14	143	169
中 等 症		3	2	12	7	9	11	36	224	304
軽 症		8	10	30	27	16	14	30	162	297
そ の 他										0
合 計	0	12	12	43	35	28	32	82	544	788

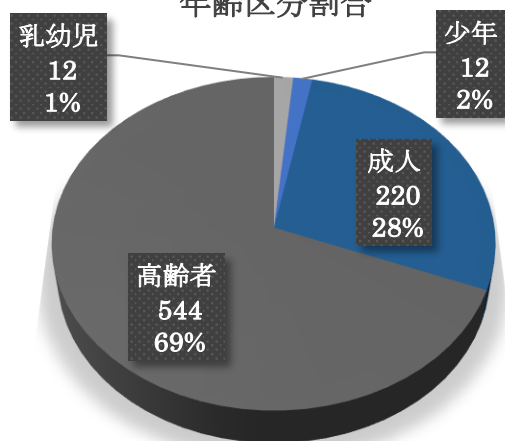
傷病程度割合



### 【傷病程度】

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの  
 重 症（長期入院）：3週間以上の入院加療を要するもの  
 中等症（入院診療）：重症又は軽症以外のもの  
 軽 症（外来診療）：入院加療を必要としないもの

年齢区分割合



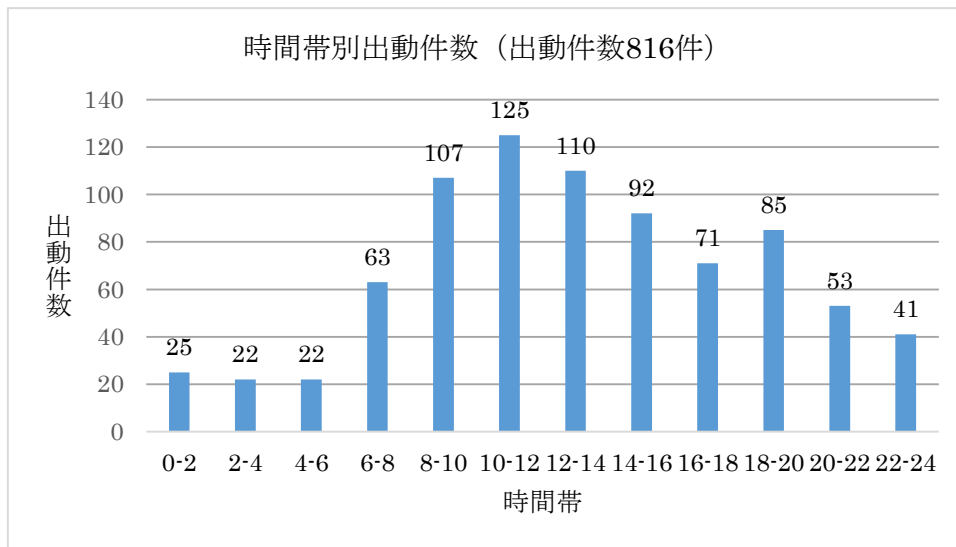
### 【年齢区分】

新生児：生後28日未満  
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満  
 少年：満7歳以上満18歳未満  
 成人：満18歳以上満65歳未満  
 高齢者：満65歳以上

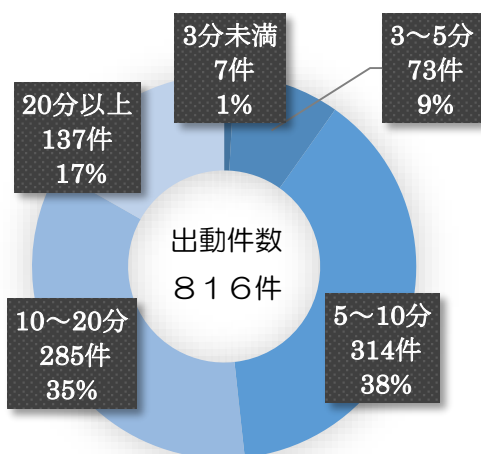
## 6 月別救急出動状況

事故種別 月別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他	
1月	出動件数	1			5	1	1	10			59	16				93
	搬送人員				5	1	1	9			57	16				89
2月	出動件数				3			8			50	16				77
	搬送人員				2			8			48	16				74
3月	出動件数				4	2		6			23	9				44
	搬送人員				9	1		6			21	9				46
4月	出動件数				2	2		15		1	42	18				80
	搬送人員				2	2		14		1	41	18				78
5月	出動件数				8	1	2	8			24	16	1			60
	搬送人員				9	1	2	7			23	16				58
6月	出動件数				10			13			33	8	1			65
	搬送人員				11			11			30	8				60
7月	出動件数				3	1		7		1	34	7				53
	搬送人員				3	1		8			34	7				53
8月	出動件数				7	1		10		1	42	13				74
	搬送人員				7	1		10		1	41	13				73
9月	出動件数				2	1	1	9			42	13				68
	搬送人員				3	1	1	9			39	13				66
10月	出動件数				8			9		1	28	10				57
	搬送人員				8			8			28	10				55
11月	出動件数				4	1		7		1	41	17	2			73
	搬送人員				4	1		7		1	40	17				70
12月	出動件数				2	1		11		1	43	14				72
	搬送人員				1	1		9		1	40	14				66
合計	出動件数	1	0	0	58	11	5	113	0	6	461	157	4	0	0	816
	搬送人員	0	0	0	64	10	5	106	0	4	442	157	0	0	0	788

## 7 時間帯別救急出動件数



## 8 現場到着所要時間別出動件数



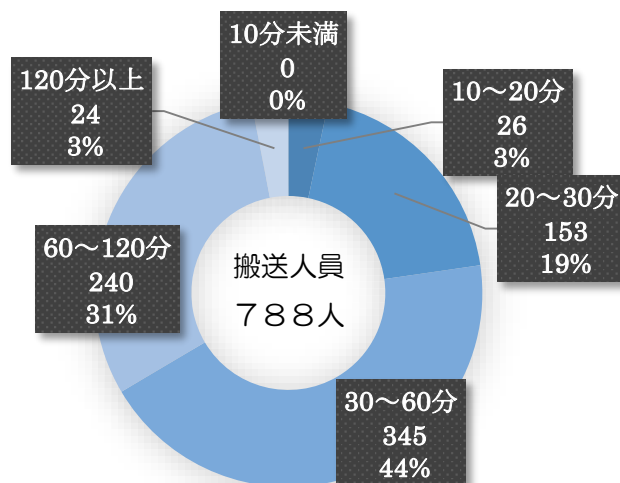
現場到着所要時間平均 12.6分

### 【現場到着所要時間】

覚知から救急現場到着に要した時間。

※「覚知」とは、消防機関が災害の通報を確認することをいいます。119番回線が消防機関に接続して、通信指令室員が受付を行った時刻が覚知時刻となります。

## 9 収容所要時間別搬送人員



収容所要時間平均 52.1分

### 【収容所要時間】

覚知から傷病者を医療機関に搬送し、収容するのに要した時間。

## 10 救急救命士有資格者数と救急救命処置等実施数

(単位: 件)

救急救命士数 (内、運用数)	除細動	器具を用いた 気道確保	静脈路確保		薬剤投与 (アドレナリン)	血糖測定	ブドウ糖投与
			心肺機能停止前	心肺機能停止後			
15 (11)	2	11	11	11	11	56	5

平成26年に救急救命士法施行規則が改正され、救急救命士が行うことのできる救急救命処置の範囲が拡大されました。

〈追加された救命処置〉

◇心肺機能停止前の傷病者に対する静脈路確保及び輸液

血圧が低下し、心臓が停止する危険性があるショック状態の傷病者に点滴を行います。

◇血糖測定、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

低血糖性の意識障害の可能性のある傷病者に対して血糖測定を行い、低血糖が確認された場合には、ブドウ糖溶液を点滴から投与します。



救急訓練 (多数傷病者対応)

### 《 救 助 編 》

#### 1 救助の概況

令和元年中の救助出動件数は23件(前年比4件増)であり、内、救助活動を行ったのは18件でした。

項 目	平成30年 (A)	令和元年 (B)	増減 (B)-(A)
出 動 件 数	19	23	4
活 動 件 数	18	16	-2
要 救 助 者 数	28	22	-6



## 2 事故種別・町別救助出動状況

救助出動件数を事故種別で見ると、「交通事故」が13件と最も多くなっています。次いで、「その他の事故」の9件ですが、これには、転落や滑落事故等が含まれます。

町別	事故種別	火災		交通事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 等	事機 械 に よ る	事建 物 等 に よ る	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
高千穂町	出動件数			6				1			7	14
	活動件数			6							7	13
日之影町	出動件数			4							1	5
	活動件数			2								2
五ヶ瀬町	出動件数			3							1	4
	活動件数			2							1	3
管轄外	出動件数											0
	活動件数											0
合計	出動件数	0	0	13	0	0	0	1	0	0	9	23
	活動件数	0	0	10	0	0	0	0	0	0	8	18

